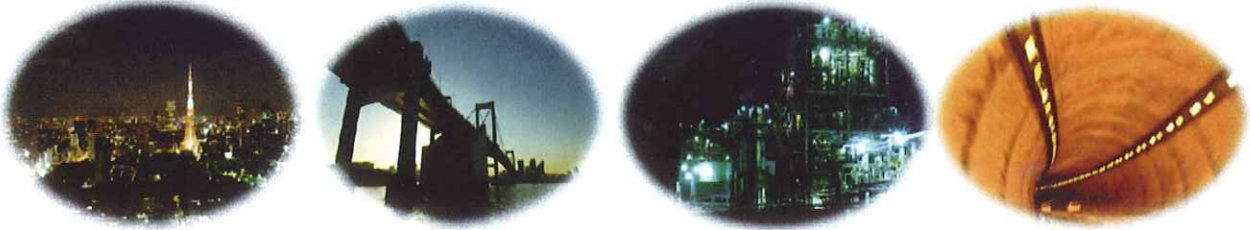


# 橋本 基礎

小特集 鉄道の連続立体交差事業



## 弾性波診断技術協会とは



少子高齢化社会や経済情勢の悪化などの社会要因により、社会インフラの長寿命化が、必須となってきます。

橋梁やコンクリート構造物の長寿命化には、適切な維持管理が必要となります。維持管理のための手段として、非破壊検査があります。

一般社団法人弾性波診断技術協会（以下 EITAC）は、弾性波を利用した非破壊検査による、社会インフラの健全度や品質を把握するための診断技術の開発・向上・普及に努め、診断技術の発展により社会に貢献することを目指して設立されました。

現在の様々な分科会を構成し活動しています。

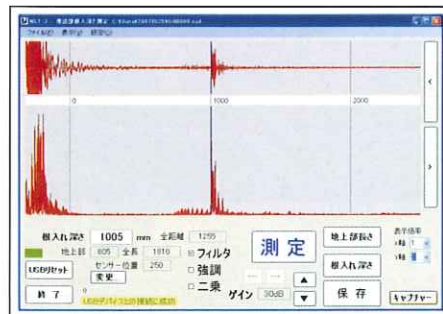
## 活動の一部

## 防護柵等根入れ長さ測定技術推進分科会活動報告

本分科会では、既設や新設の防護柵等の支柱の根入れ長さを支柱を引き抜かず、弾性波を利用した測定装置により、非破壊で測定する技術を研究開発しています。

定量的な測定を可能にするため装置の認定と測定技術者の技術講習会および技術認定を、適宜行っています。

装置認定の第1号として [NST-2] を認定しました。



NTS-2 国土交通省 新技術提供システム [NETIS] に登録済みです。[NETIS 登録番号：KT-060039-A]

技術講習会は、社団法人日本建設機械化協会 施工技術総合研究所に委託し、第2回目の技術講習会を福岡市にて2010年7月15、16日に開催しました。適合試験（筆記試験、実技試験）を行い、合格者にはEITACより技術者認定証を発行しました。



入会希望の方は下記までお問い合わせください

一般社団法人

弾性波診断技術協会

〒103-0016

東京都中央区日本橋小網町18-16 日本橋サマリヤシティ 704

TEL. (03)6661-2131

FAX. (03)6661-2171

URL : <http://www.eitac.jp/> E-mail : [info@eitac.jp](mailto:info@eitac.jp)